

小規模ナプキン製造機を用いて、フィリピンの女性たちにナプキンを届けたい！

「世界を変えるデザインを”届ける” in フィリピン」プロジェクト

11月12日 READYFOR?にて始動

～アジアの辺境からイノベーションで世界を変える～

株式会社グランマ(東京都渋谷区、代表取締役:本村拓人)は、生理用ナプキンが持てないフィリピンの人々に小型ナプキン製造機を用いて、ナプキンを届けるプロジェクト「世界を変えるデザインを”届ける” in フィリピン」を、2012年11月12日(月)にクラウドファンディングサイト「READYFOR?」にて開始いたします。

人口およそ 9,500 万人のフィリピンでは、女性が必要とする生理用ナプキンの普及率はおおよそ 32%とされ、未だ 2,000 万人の女性がナプキンを使用できずにいます。一般に、途上国の女性は、ナプキンの不足により本来勉強や仕事などに費やすべき時間、年間で 50 日、一生の中での 5 年間分を失っているとされています。さらに、女性が使用するナプキンや生理事情に対する男性の理解が不足していることにより、女性の社会的な活動に対する大きな障害となっています。

アジアの発展途上国で地域のイノベーター(発明家)との協働プロジェクトを展開する株式会社グランマは、今回、フィリピンと同様に、女性が直面する生理用ナプキンの課題を抱えていたインドで、生理用ナプキンの製造機を開発し、地域の女性たちと共に流通、製造、販売するしくみを産み出したイノベーター、アルナチャラン・ムルガルン氏に出会いました。今回私たちは、彼の小型ナプキン製造機や生産・販売のノウハウをフィリピンに広めること、農村部で持続的なナプキンの生産体制の構築、また女性の生理事情に対する啓蒙活動、女性たちへの流通・販売を行います。女性たちがナプキンを手に入れることにより、学校や仕事に費やす時間を生むだけでなく、ナプキンの生産・販売による地域の雇用創出、また女性の社会的進出による地域のエンパワーメントにつながることを目指しています。

私たちは、アジアの辺境地域に偏在する、「グラスルーツ(草の根レベル)・イノベーター」(=限られた資源・環境の中で自らのアイデアを生活向上の手段へ昇華させ、新たな価値を産み出す人々)に光を当て、従来の途上国支援や貧困問題解決に見られるような“トップダウン”ではない、“ボトムアップ”のビジネスモデルをアジア諸国のパートナーとともに展開してまいります。

【プロジェクト概要】

日時:2012年11月12日(月)～12月27日(木)

タイトル:「世界を変えるデザインを”届ける”」プロジェクト in フィリピン

内容:

- ・フィリピンの農村地域(5つの村)での生理用ナプキンの製造・販売
- ・上記製造・流通・販売過程における雇用の創出
- ・女性の生理事情に対する啓蒙活動
- ・女性の社会進出拡大による地域のエンパワーメント



フィリピン現地パートナー:

Aakar Innovation 社(ナプキン製造機及び製造プロセスの改善)

HAPINOY(商品の流通・販売プログラム開発)

CARD(マイクロファイナンスによる住民への融資)



【Ready For でのプロジェクトページ】

<https://readyfor.jp/projects/napkin>

「世界を変えるデザインを”届ける” in フィリピン」READYFOR?プロジェクト

フィリピンの女性たちに生理用ナプキンを届けるプロジェクト「世界を変えるデザインを”届ける” in フィリピン」では、その活動資金の一部をクラウドファンディングサイト「READY FOR?」にて集めます。

【活動地域】

株式会社グランマは事前の現地ニーズ調査を行い、今回、特にフィリピンの中でもナプキン普及率が低いおよそ人口 100 万人のミンドロ島にターゲットを絞りました。今後ミンドロ島を拠点にナプキンの生産体制を構築し、その島内の計 5 つの村、計 1 万人の人々に対し、ナプキンの重要性に対する啓蒙活動と、ナプキンの流通・販売活動を展開していきます。



【資金の使い方】

資金調達目標:200 万円 / 内訳:機械の購入:小型ナプキン製造機:45 万円 原料調達費:40万円
輸送費:10 万円 現地エンジニアとの協働による機械改良費(人件費含む):20万円
製造・販売(現地女性の人件費):25 万円 啓蒙活動にかかる費用:30万円 渡航費:30万円

【READYFOR?引換券(一例)】

「READYFOR?」での支援に対してお渡しさせていただく引換券の内容は下記の通りです。

3,000 円の支援で受取る引換券

- ・本プロジェクトの活動報告書・お礼状を送付
- ・現地のお写真(活動地域の様子、製造や啓蒙活動等の様子)

10,000 円の支援で受取る引換券

- ・上記3点に加え、現地で製造した手作りナプキン、現地の民芸品(アクセサリ等小物)を送付。

30,000 円の支援で受取る引換券

- ・上記5点に加え、プロジェクト報告を兼ねたパーティへご招待。(2013 年6月、都内で開催予定。)

100,000 円の支援で受取る引換券

- ・上記6点に加え、Rag2Riches の鞆 or 小物を 1 つ交付する。

300,000 円の支援で受取る引換券

- ・上記7点に加え、フィリピンミンドロ島視察ツアー(島内2日間ご案内)を1名分。

500,000 円の支援で受取る引換券

- ・100,000 円引換券の 7 点に加え、本村と行く、フィリピン・フィールドワーク(4泊5日)1 名分。

計6種類。

【活動報告】

プロジェクト開始日より、原則 5 日ごとに活動の報告を行います。また資金調達に成功した場合、活動報告会(東京)で成果報告を行います。

【活動タイムライン】※現地の状況により、一部変更になる可能性がございます。

<資金調達・準備期>

2012 年 11 月

- ・プロジェクトサイト、ローカルパートナー等の確定

12 月

- ・生理用ナプキンに対するニーズ調査

<資金調達・準備期>

2013 年 1 月

- ・生理用ナプキン製造機の調整

- ・現地でのマーケティングプランの立案

2 月

- ・最終製品、製造プロセスの立案

- ・女性スタッフへの製造トレーニング開始

3 月

- ・生理用ナプキンに対する啓蒙活動

- ・女性販売員のトレーニング・プランの作成

4 月上旬

- ・ナプキンの販売開始

5 月末

- ・1,000 枚の販売目標達成

6 月末

日本での最終報告会

株式会社グランマ

発展途上国の「貧困」の原因を「想像力が枯渇している状態」と定義し、その課題を解決するというビジョンを掲げて 2009 年に設立。2010 年、途上国が抱える様々な課題の解決に重要な役割を担っている約 60 個のプロダクトを展示した“世界を変えるデザイン展”を開催。延べ 5 万人の方々の方々の集客を果たす。その後、途上国でのリサーチを続けながら、サプライチェーン、様々なステークホルダーの所得向上に繋がりを築くビジネスの構築など、課題解決に向けより持続可能なビジネスモデルの設計に取り組む。

2011 年、経済的貧困者が自らのアイデアと実践の場で培ってきた技能・知識を活かし、充電式 3 輪車や粘土製冷蔵庫、バイオマス発電機といった製品をデザインし、製造し、先進諸国に対してもローコスト且つ良質な製品の流通を行っているビジネスモデルに出会う。こうした草の根レベルから起こる革新＝「グラスルーツ・イノベーション」は、例えばインドでは現在、その製品アイデアが約 16 万人以上存在しており、従来の途上国支援や貧困問題の解決に見られるトップダウン型の取り組みに匹敵する可能性をもつ。株式会社グランマは、この「グラスルーツ・イノベーション」が、“最大多数の最大幸福”を創造し、世界から貧困＝想像力の枯渇を無くす多くの可能性を秘めていると信じている。

【会社概要】

社名：株式会社グランマ

所在地：東京都渋谷区渋谷 4-2-5

代表：代表取締役 本村拓人

Tel: 03-4500-1254

E-mail: info@granma-port.jp

URL:<http://granma-port.jp>



2012 年 11 月にケアラルンプールで開催したワークショップ



2010 年に開催した世界を変えるデザイン展(東京ミッドタウン・デザインハブ)

グラスルーツから始まるイノベーション・プラットフォーム

「Design For Freedom」プロジェクト

株式会社グランマは、アジアのグラスルーツ(草の根)から生まれたイノベーションの情報を積極的に収集・共有し、すべての人々の“More Imaginative Life”(想像力)を引き出し、世界中から“ヒト・モノ・マネー”を呼び込む、プロジェクト「Design For Freedom」、またその対話の場のプラットフォームとしての Web サイト「Design for Freedom」(<http://d4f.asia>) を立ち上げました。今後、様々なグラスルーツ・イノベーションの事例やプロジェクトを紹介していきます。



本件に関するお問い合わせ先:

株式会社グランマ 担当: 山本

Tel: 03-4500-1254 / Mobie: 090-9760-4299 E-mail: info@granma-port.jp